

# 地域クラブ活動への 地域展開等を進めるために

学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への展開について、国や県の動向を含めた基本的な説明から、環境整備への取組全般に関する相談を受け付けます  
研修会や説明会、講演会、協議会等への依頼をお待ちしております

## ぐんま コーディネーター 派遣制度

### 経験豊かな7名のコーディネーター

- スポーツ** 小出 利一（県総括コーディネーター）
  - ・スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー
  - ・全国総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 副幹事長 広報部会長
  - ・NPO法人新町スポーツクラブ理事長
- スポーツ** 田島 康匡（県コーディネーター）
  - ・元校長 ・専門学校講師 ・群馬県、関東、日本中学校体育連盟で活動経験あり
- スポーツ** 飯塚 敏雄（県コーディネーター）
  - ・群馬県小中学校長会事務局長 ・吉岡町スポ少バレー団中学女子指導者
  - ・元群馬県中学校長会長 ・元吉岡町教育委員会社会教育指導員
- スポーツ** 小野里 順子（県コーディネーター）
  - ・群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 副会長
  - ・群馬県スポーツ協合理事 ・うすねニュースポーツクラブ代表
- スポーツ** 平林 知巳（県コーディネーター）
  - ・群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長
  - ・NPO法人伊勢崎西部スポーツクラブ理事長
- スポーツ** 菅谷 美沙都（県コーディネーター）
  - ・上武大学ビジネス情報学部講師 ・群馬県スポーツ推進審議会委員
- 文化** 清田 和泉（県コーディネーター）
  - ・元校長 ・元中学校吹奏楽部顧問 ・高崎市少年少女合唱団指導者

### 対象

教育行政関係者 学校関係者  
PTA関係者 スポーツ・文化行政関係者  
スポーツ・文化等の団体 等主催の会議など

### 派遣期間

令和7年6月～令和8年1月末  
(期間内であれば何度でも可能です)



#### POINT 1 /

#### 地域展開・地域連携を知る

地域クラブ活動への移行について、国や県の方針を含めて、丁寧に説明します。



#### POINT 2 /

#### 少人数可能

数名の会議から、大人数の講演会まで、希望に応じて対応します。



#### POINT 3 /

#### スケジュール調整可能

希望する日に派遣できるように調整します。数十分から数時間まで、時間の希望に応じて対応します。

※派遣にかかる費用は、当方ですべて負担します。  
※コーディネーターの日程調整ができない場合、健康体育課又は義務教育課の指導主事の派遣になることもあります。  
※平日の夕方の派遣、土日の派遣、指導主事の派遣等、ご要望等について可能な限り対応したいと考えていますので、ご相談ください。

問合せ先

群馬県教育委員会  
健康体育課 027-898-3857 (スポーツ担当)  
義務教育課 027-226-4612 (文化担当)

申込みは  
こちら >>>



# ぐんま 部活動地域展開 チェックリスト

市町村向け スポーツ版

- 現状把握や課題確認を目的としたチェックリストです
- 「全ての項目にチェックが入れなければならない」「前のステージが終わらないと次に進めない」というものではありません
- 各自治体の実情に応じて、必要な箇所から取り組んでください
- 不明な点等は、下記担当課までご相談ください

教育委員会健康体育課  
地域創生部スポーツ振興課

## 【各ステージ】

- ホップ編 ステージ0：学校部活動の現状と課題  
ステージ1：協議会の設置と推進計画の策定
- ステップ編 ステージ2：地域展開に向けて
- ジャンプ編 ステージ3：持続可能な体制の構築  
ステージ4：平日も含めた地域展開へ

群馬県教育委員会  
群馬県地域創生部  
令和7年5月

# 市町村向け スポーツ版 部活動地域展開 チェックリスト

No.1  
ホップ編

## ステージ0：学校部活動の現状と課題

### 0-1 学校部活動の現状把握

- 生徒数の推移（5年前から10年後くらいまで）
- 部活動設置数（一覧表にすると、合同部活動や拠点校部活動などの可能性が見つけやすくなります）
- 合同部活動数・拠点校部活動数
- 入部率

### 0-2 学校部活動の課題把握

- 生徒の希望する部活動の把握
- 指導者（顧問・部活動指導員・外部指導者）の確保
- 適正な活動時間と場の確保

## ステージ1：協議会の設置と推進計画の策定

### 1-1 協議会の設置と推進計画の策定

- 実務担当課の決定
- 関係他部署との連携体制の構築（実務者会議の設置）
- 協議会の設置（委員の例：学識経験者、保護者代表、スポーツ関係団体、文化関係団体、校長など）
- 実態調査・アンケート調査（生徒・保護者・教員）の実施と分析
- 推進計画・推進目標の策定
- 生徒・保護者・地域住民への情報提供方法の確立

### 1-2 学校部活動の改善

- 国・群馬県ガイドラインの遵守
- 地域の実情に応じたガイドラインの策定
- ゆる部活・シーズン制・マルチスポーツの導入検討
- 生徒の主体的活動の推進
- 合同部活動の実施
- 拠点校部活動の実施
- 顧問・部活動指導員・外部指導者の確保
- 適正な活動時間の設定
- 活動場所の確保
- 移動手段の確保


# 部活動地域展開

## ステップ編

### チェックリスト

#### ステージ2：地域展開に向けて

##### 2-1 休日の地域クラブ活動への移行

- 総括コーディネーターの任用
- 各種団体の実態調査（スポーツ少年団・スポーツクラブなど）
- 地域展開後の運営組織の検討（市町村直轄・公的機関・民間組織）
- スポーツ協会等との連携
- 受け皿の決定（行政機関・スポーツ協会・競技団体・スポーツ少年団・保護者会・総合型スポーツクラブ・民間企業等）
- できる部活からの実証研究（成果と課題を整理し、よりよい運営方法を検討する）
- 新規地域クラブの設立支援（アシスタントクラブマネージャー養成講習会紹介等）
- リスクマネジメント（傷害保険・賠償責任保険）対応
- 公認（公的支援）クラブの要件（公益性・法人格等）
- 日本スポーツ協会の作成「総合型クラブ創設ガイド」を活用 


##### 2-2 財源の確保

- 持続可能な予算計画策定
- 必要な予算の確保
- 国・県補助金・各種助成金の活用
- 適切な会費の検討
- 受益者負担への理解促進
- 経済的な困窮家庭への支援策
- 企業協賛金、ふるさと納税等の検討

##### 2-3 指導者の確保と質の向上

- 指導者バンクの設立または県指導者バンク等の活用
- 指導者資格の取得
- 指導手当の検討
- サポートスタッフの確保（保護者等地域人材の活用）
- 教職員の兼職兼業の可否や条件等
- 指導者研修の実施と認定制度導入

##### 2-4 効果的な広報

- 市町村ホームページ等の活用
- チラシの配布・回覧等の広報
- 教職員や保護者、生徒向け説明会の実施
- シンポジウム・セミナー等の開催
- テレビ・ラジオ・新聞等、地域メディアとの連携
- 日本スポーツ協会作成「総合型広報ガイド」を活用 

##### 2-5 学校施設 管理体制の整備

- 学校施設・公共施設活用ルールの設定
- 放課後活動、社会体育活動の時間帯調整
- ICTの活用（スマートロック、防犯カメラ）
- 用具借用ルールの設定
- 指定管理者制度、業務管理委託制度の活用

# 部活動地域展開


## ジャンプ編

### チェックリスト

#### ステージ3：持続可能な体制の構築

- 地域クラブとしての危機管理マニュアルの作成
- 生徒のやりたいスポーツ運営体制への移行
- 引退のない部活動の実施
- ジュニアからシニアまでの多世代での取り組みの試行
- 大学・高校・企業・プロスポーツチーム・各種団体（J A ・ J C I ・ 郵便局 ・ 地域交通機関等）との連携
- 学校・公共施設以外の施設（大学・企業・フィットネスクラブ・スイミングスクール）の活用
- 地域スポーツクラブとの連携（支援アプリ等を利用した連絡方法の検討）
- 広報活動（ノウハウ・掲示場所）への協力体制
- 近隣自治体との広域連携
- 大会の変更（リーグ戦・レベル別大会等）

#### ステージ4：平日も含めた地域展開へ

- 民間資金の活用（企業版ふるさと納税）
- スポンサーシップの活用
- 自治体主導のクラウドファンディングの活用
- 地域クラブ運営の効率化促進（支援アプリ等の導入）
- 公認クラブマネージャー及びアシスタントクラブマネージャー資格取得の促進 
- 公認スポーツ指導者資格取得の促進

#### 学校部活動の地域連携及びクラブ活動への移行に向けた推進計画（令和5年7月）



#### 概要版



#### 学校部活動の地域連携及びクラブ活動への移行に向けた推進計画（抜）

##### 【推進計画策定の目的】

- ◎ 少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する。
- ◎ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下、地域におけるスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、子供たちの持続可能で多様な機会を確保するとともに、多世代交流によって地域コミュニティの充実を図る。
- ◎ 学校の働き方改革を推進し、学校教育の質を向上させる。

##### 【取組の基本方針】

###### (1) 地域クラブ活動の在り方

生徒のみならず地域住民が生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、多様な世代とのコミュニケーションを通して、従前の学校部活動の意義をさらに発展させ、生徒の心身の健全育成等を図ることのできるより良い地域スポーツ・文化芸術環境を目指す。

###### (2) 地域クラブ活動の環境整備

生徒のみならず地域住民を対象とした地域スポーツ・文化芸術活動全体を振興する契機とする。

## 伊勢崎西部スポーツクラブ☆フェス 2025 開催要項

～ 令和7年度 スポーツ庁委託事業 重点地域政策課題 マルチスポーツ体験 ～

### 1.目的

スポーツ庁委託事業 重点地域政策課題として、地域においてマルチスポーツ体験の機会の場として、開催する。  
「スポーツの見えるまちづくり」「スポーツで元気なまちづくり」を理念に掲げ、主に伊勢崎市西部地区で活動をしてきて 18 年、今まで以上に地域における存在意義を高め、スポーツを通して地域の課題解決に貢献できるよう、様々な活動体験会を開催することで、クラブのさらなる認知度向上を図る。

### 6.内容

#### ①子どもかけっこ大会 9:00～10:10

#### ②ステージ発表

10:00～ D-zone HipHop school

10:30～ 活動体験『ムーブストレッチ(10分)、貯筋運動(10分)』

11:00～ 一中ダンス部

11:30～ 手話ダンス

12:00～ 活動体験『ムーブストレッチ(10分)、貯筋運動(10分)』

12:30～ フラダンス

13:00～ フラクトルサイン(音楽)

#### ③各種活動体験

10:00～ ボクシング、ポッチャ(～13:30 随時)

11:00～ かけっこ塾(20分)、カヌー(30分)

11:30～ フラッグフットボール(20分)

12:00～ かけっこ塾(20分)

12:30～ フラッグフットボール(20分)、カヌー(30分)、ノルディックウォーク(20分)

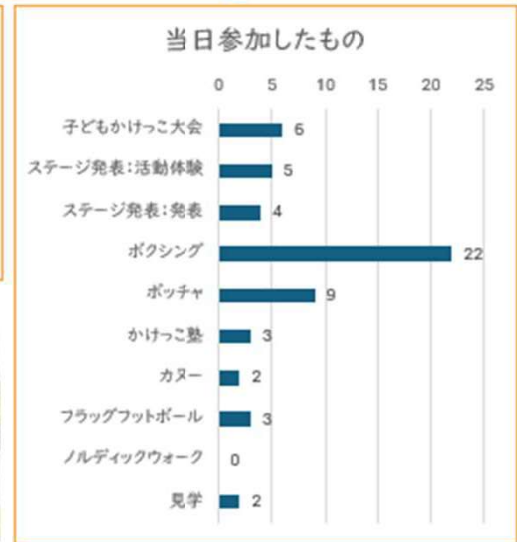
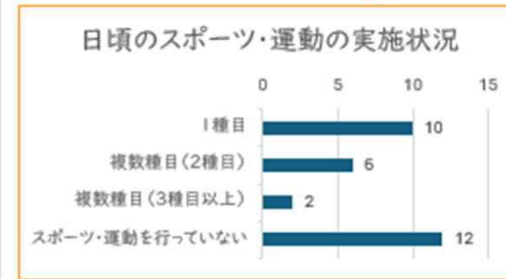
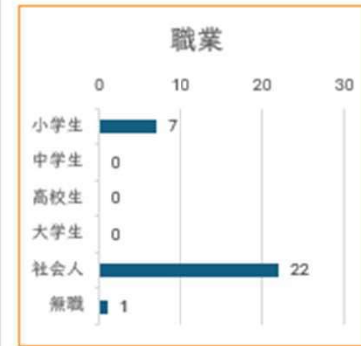
#### ④各種ワークショップ(3店舗出店) 10:00～13:30

#### ⑤キッチンカー(2台) 10:00～13:30

## 実施報告書

参加者人数  
アンケート回収数(30)

実施日:令和7年9月23日(火・祝日)



### 複数種目を体験した感想

- ポッチャ、場所と物がないとなかなか経験できないので、とても楽しかったです
- とても楽しく体験できました もっとやりたいといっていました
- 楽しかったです教え方が上手です
- ボクシングすごく楽しかった様で、2回参加させて貰いました
- パンチの時の衝撃が、ボクシングらしくて楽しかった 子供がとても楽しそうに体験していました ありがとうございます
- 丁寧に楽しく学べました
- もっとやりたいかった
- 初めてボクシングの体験をしました 貴重な体験をありがとうございました 思っていたよりも疲れましたが、とても楽しかったです
- 楽しませていただきました
- 楽しかったです 子ども達も色々興味持っていました
- 子供も大人も楽しく活動することができました

- 満足した
- おもしろかった
- めっちゃ楽しかった
- ボクシングがたのしかった
- Kidsダンスは良かった
- 初めてポッチャをしたけど楽しかった
- 普段なかなかできない体験ができて面白かったです。
- ボクシングは子供が体験しました 初めてのでしたが、すごく楽しかったと言っております ステージではムーブストレッチを家族で体験しました 激しくなく気持ちよく受けて気持ちよかったです
- 外で気持ち良く過ごせました
- 自分のグループの発表だけで余裕が有りませんでした
- 沢山体験出来て楽しめました ワークショップわくわくして見させていただきました。



多様なスポーツ体験の機会  
の提供 (マルチスポ  
ーツ環境の整備)

## NPO 法人新町スポーツクラブ設立 25 周年記念スポーツフェスティバル開催要項

～～令和7年度 スポーツ庁委託事業 重点地域政策課題 マルチスポーツ体験～～

### 【目的】

2000年に群馬県初の総合型地域スポーツクラブとして設立した NPO 法人新町スポーツクラブの創立 25 周年記念事業として、新町周辺の人達にマルチスポーツ体験並びにトップアスリートと触れ合う機会を設けることを目的とする。

### 【日程】

#### 1. 開会式

#### 2. オープニング 和太鼓演奏と和太鼓体験会 (30 分)

#### 3. マルチスポーツ体験タイム1 (90 分)

(1) 各種スポーツ体験タイム1 (1日かけて最低1人3種目を体験しよう)

バレーボール、バスケットボール、和太鼓、走り方、ヒップホップダンス  
フットサル、手作りおもちゃ工作教室

MINAKAMI TOWN.EXE エキシビジョン披露

#### 4. 昼食タイム (昼食前にヒップホップダンス教室披露)

#### 5. マルチスポーツ体験タイム2 (90 分)

(1) 各種スポーツ体験タイム1 (1日かけて最低1人3種目を体験しよう)

バレーボール、バスケットボール、和太鼓、走り方、ヒップホップダンス  
フットサル、手作りおもちゃ工作教室

#### 6. みんなで踊ろう

#### 7. 閉会式

## NPO法人新町スポーツクラブ創立25周年記念スポフェス

令和7年度 スポーツ庁委託事業 重点地域政策課題 マルチスポーツ体験

### 実施報告書

参加者人数  
アンケート回収数 (20)

実施日: 令和7年10月13日 (月・祝日)



#### 複数種目を体験した感想

- 楽しかった
- 全部おもしろかった
- 色んなスポーツが一度にたくさん体験できて、大きくなってからやってみたいスポーツが増えた
- 初めて体験した種目があり、楽しかった
- 色々な体の使い方をできて良かった
- あまり積極的なタイプではないのですが、どの種目も参加しやすい雰囲気、初めてのスポーツも子供なりに楽しんでいました
- どれも楽しかった
- 習っていないけど好きなスポーツに挑戦できて楽しかったです
- 初めての競技に挑戦出来てよかったです
- 初めて体験するスポーツもあって楽しかったです
- たくさんの種目ができて楽しかった
- 普段やっていないスポーツができて面白かった
- 自分がやったことがない種目は難しかったけど、どれも楽しかった

- 子供たちが体験しました 初めてモルックをしましたが、一番楽しかったと言っていました
- 1つの会場で複数の種目を体験できたので、子どもに初めての体験をたくさんさせることができた
- 興味あるけどやったことなかった種目を体験できて楽しかったです

## 「北毛ブロックフェス2025!!」開催要項

～令和7年度スポーツ庁委託事業 重点地域政策課題 マルチスポーツ体験～

- 1 目的 群馬県総合型地域スポーツクラブの持続可能性を向上させるために、クラブ運営に必要な  
経験や学びを得て、多様なスポーツ体験を通じ、市民県民に向けウェルビーイングの向上  
や、社会課題の解決に向け民と官で未来を共に創る取り組みを行う！

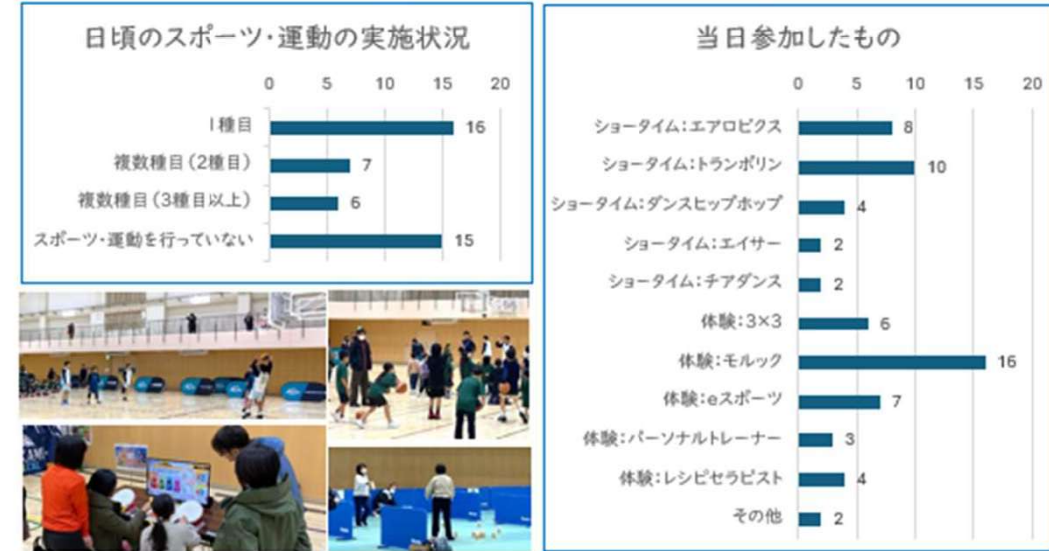
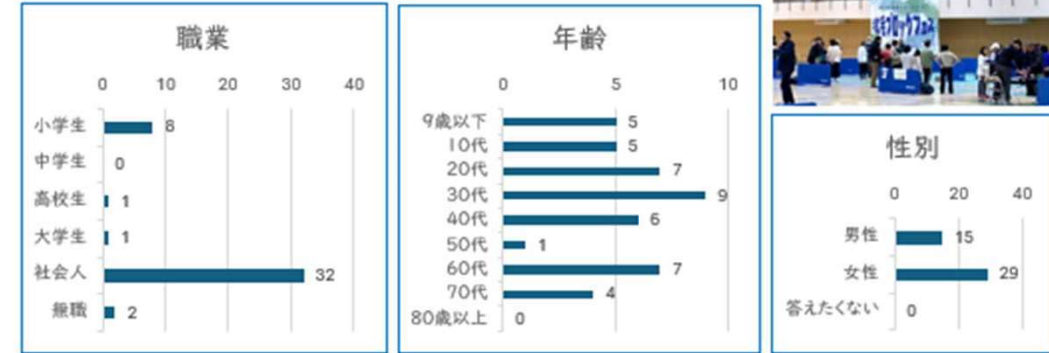
### 10 事業内容 開会セレモニー

- 10:30～ 開会行事・主催者挨拶・来賓紹介・協賛社紹介 写真撮影
- 10:45～ 全体レク：スローエアロビック体験～全員参加
- 11:00～ ショータイム：ダンスステージショー（豊かな心と幸福感が電波するチーム発表会！）  
 <エアロビック>沼田南中ダンス、薄根小 UNS エアロビックスポ少年団、ルピナス他  
 <トランポビクス>花ぐるま、はっぴい群馬  
 <ダンスヒップホップ>川場春駒チェリーズ  
 <エイサー>沼田だんべえ愛好会  
 <チアダンス>みなかみチアチーム1・チーム2
- 11:45～ ショータイム：プロ選手による3×3エキシビジョンマッチ
- 12:00～ 体験ブース：3×3バスケット（～15時）
- 12:00～ 体験ブース：モルック（～15時）
- 12:00～ 体験ブース：eスポーツ（～15時）
- 12:00～ 健康ブース：パーソナルトレーナーによる癒し処（～15時）
- 12:00～ 健康ブース：レシピセラピストによる健康相談（～15時）
- 15:00～ 閉会行事

## 実施報告書

参加者人数 183名  
アンケート回収数(44)

実施日：令和7年12月6日(土)



### 複数種目を体験した感想

- 子ども大人も楽しめる、いいイベントだと思います!
- とても皆んな楽しそうにやっていた
- 子供が参加し楽しんでいました
- バスケの試合のみの参加でしたが、楽しかったそうです
- エグゼのエキシビジョンが近くで見れて最高でした
- 太鼓の達人もあったし、モルックもあったからとても面白かったです
- エアロビとモルックで参加している合間で、eスポーツもさせて頂きました
- たくさんの方と交流出来たので良かったです
- モルックは戦略性があり、面白かった
- 初めてモルックを体験しましたが、以外と楽しかったです! 自然しました
- エアロビクスがとても楽しかったです!
- ダンスが素敵でした
- 年齢を重ねても楽しく体を動かすことの素晴らしさを感じました
- 普段関わらない人たちも交流していて盛り上がっていて良かった 種目が盛り上がっていて良かった 参加人数が多くて良い大会だった

- たった10分ですが身体が軽くなります
- 楽しく体を動かせた
- 久しぶりに体が動かせました
- 楽しく一日が過ぎることができました

## ぐんま部活動地域展開トレーナー・アスリート派遣事業 実施要領

群馬県教育委員会  
群馬県地域創生部

令和7年10月1日

ぐんま地域スポーツクラブ活動トレーナー・アスリート派遣事業実施要綱第8条の規定に基づき、市町村が選定した地域スポーツクラブを対象としたトレーナー・アスリート派遣事業の実施について必要な事項を、本実施要領で定めるものとする。

### 1 目的

公立中学校等における、運動部活動の地域展開を推進している自治体の地域スポーツクラブに対しトレーナーやアスリートを派遣することで、スポーツ医学に基づいた適切な指導や、専門的な指導による地域スポーツクラブ活動の充実を図ることを目的とする。

### 2 実施主体

本事業の実施主体は、群馬県教育委員会健康体育課及び群馬県地域創生部スポーツ振興課（以下、「県事務局」という。）とする。

### 3 実施期間及び回数

- (1) 派遣期間は、令和7年10月1日（水）から令和8年2月15日（日）とする。
- (2) 派遣回数については、制限を設けないが、申請クラブ数等を考慮し、予算内の範囲で県事務局が調整する。

### 4 派遣対象

- (1) 県内市町村教育委員会の選定する「地域スポーツクラブ」
- (2) 県内市町村スポーツ部局の選定する「地域スポーツクラブ」
- (3) その他団体の選定する「地域スポーツクラブ」については、県事務局にて判断する

### 5 実施内容

運動部活動の地域展開を進めている自治体等から申請のあった地域スポーツクラブに対し、次に掲げるトレーナーやアスリートを派遣する。

- (1) トレーナー派遣による実技指導 等  
【協力依頼先】高崎健康福祉大学、太田医療技術専門学校 等
- (2) アスリート派遣による実技指導 等  
【協力依頼先】群馬大学、上武大学、桐生大学、育英大学、太田医療技術専門学校  
群馬県パラスポーツ協会 等

### 6 派遣申請書の提出

派遣を希望する県内市町村教育委員会又は県内市町村スポーツ部局等は、派遣申請書（様式第1号）を県事務局へ提出するものとする。

### 7 派遣までの具体的な流れ

- (1) 市町村教育委員会又は市町村スポーツ部局等は、派遣申請書（様式第1号）を県事務局へ提出
- (2) 県事務局は、提出された派遣申請書（様式第1号）の内容（希望日時、場所、活動、人数、指導内容等）を確認
- (3) 県事務局は、トレーナー・アスリートのスケジュールを調整
- (4) 県事務局は、市町村教育委員会又は市町村スポーツ部局等に、派遣決定を通知（様式第2号）
- (5) 県事務局は、トレーナー・アスリートに講師の委嘱及び派遣依頼を送付（様式第3号）
- (6) トレーナー・アスリートは、地域スポーツクラブで指導

### 8 事業実績報告書の提出

派遣を受けた県内市町村教育委員会又は県内市町村スポーツ部局等は、県事務局が指定する期日までに、事業実績報告書（様式第6号①②③）を提出するものとする。

### 9 実施に係る経費

- (1) 県事務局は、下記の経費を支払うものとする。
  - ◆トレーナー：報酬及び交通費
  - ◆アスリート：報酬及び交通費
- (2) 報酬について
  - ◆トレーナー：1時間あたり3,000円（税込）
  - ◆アスリート：1時間あたり1,600円（税込）
- (3) 交通費について
  - ◆トレーナー：実際の経路に応じて ※県の規定により
  - ◆アスリート：実際の経路に応じて ※県の規定により

### 10 その他

- (1) 本事業は、スポーツ庁の「地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブへの移行に向けた実証事業）」を活用し、「重点地域における政策課題への対応」として実施する。

【参考】「重点地域における政策課題への対応」

- ⑤ トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
  - ⑥ 体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等
- (2) この要領に定めのない事項については、協議にて決定する。

### 附 則

この要領は、令和7年10月1日から適用する

## 「今後の地域クラブの組織の在り方（運営団体として）」

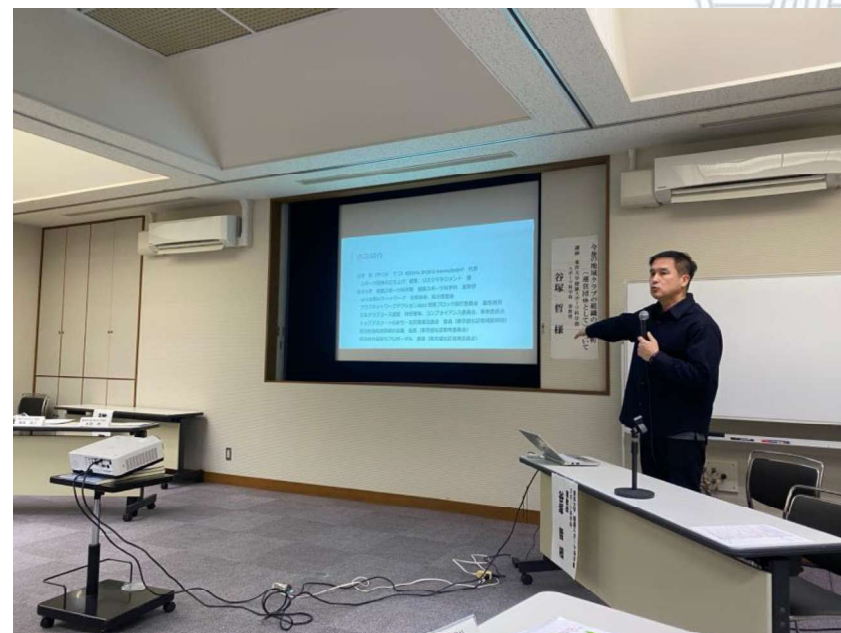
東洋大学  
健康スポーツ科学部スポーツ科学科  
准教授 谷塚 哲 氏

### 【講演内容】

- ◆スポーツ基本法
- ◆スポーツ団体ガバナンスコード
- ◆スポーツの産業化
- ◆スポーツ団体（任意団体）の法人化
- ◆法人格の選択（目的によって）
- ◆法人税の考え方
- ◆選ばれるスポーツ団体になるためには

### 【選ばれるスポーツ団体になるためには】

- ◇今後スポーツ団体は「権利義務の主体」となり、  
事業を「継続」することが求められ、「信頼」が必要  
となる ⇒ 法人化の必要性
- ◇今後スポーツ団体は住民から、企業から、自治体  
から「選ばれる団体」にならなければいけない  
⇒ 部活動の展開先として



県外視察・研修会・情報交換等 報告書

都道府県・市町村	岐阜県・白川町
概要	<p>◆令和7年10月6日(月) 13:30～16:30 スポーツリンク白川 研修 ※別紙資料参照</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 白川町について</li> <li>2 スポーツリンク白川の成り立ち</li> <li>3 白川中学校との連携について</li> <li>4 施設見学 大野台パーク、みかわドーム、白川中学校</li> </ol> <p>◆令和7年10月7日(火) 10:30～12:00 岐阜県教育委員会体育健康課 古田主幹 他3名 情報交換</p>
訪問場所	<p>【1日目】令和7年10月6日(月) 白川町町民会館 【2日目】令和7年10月7日(火) 岐阜県庁</p>
訪問者	<p>【1日目】令和7年10月6日(月) 小山指導主事、小林指導主事、小出県総括コーディネーター、結城部活動地域移行コーディネーター(伊勢崎市)、鹿田指導主事(渋川市)、坂本社会教育指導員(吉岡町)</p> <p>【2日目】令和7年10月7日(火) 小山指導主事、小林指導主事、小出県総括コーディネーター、坂本社会教育指導員(吉岡町)</p>
担当者	<p>【1日目】令和7年10月6日(月) ・スポーツリンク白川 クラブマネージャー 渡辺靖代</p> <p>【2日目】令和7年10月7日(火) ・岐阜県教育委員会体育健康課部活動改革係課長補佐兼係長 岩見光洋</p>
<p>&lt;内容・記録&gt;</p> <p>【1日目】令和7年10月6日(月)</p> <p>◆スポーツリンク白川クラブマネージャーの渡辺氏より、成り立ちや白川中学校との連携について、説明を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年4月に町議会との懇談会の中で、体育協会と少年団、総合型のスポーツ団体を一つにまとめるかどうかと話しがあったこと。(助成金をまともしたい)</li> <li>・スポーツ振興を考える会で、すべての指導者等を集めて、課題を出したこと。</li> <li>・2015年に、「白川スポーツクラブ(仮)」として、スポーツ保険の一本化に取り組んだこと。</li> <li>・一般社団法人とすること。</li> <li>・2017年3月に設立したこと。(4月より指定管理を受けるため)</li> <li>・当初の取り組みには、競技力向上等の文言があったが、コロナ過に、会員700名にアンケートをとり、現在の4つに変わったこと。</li> <li>・「人口の10%を会員に」という目的でやってきたが、おおむね達成できていること。</li> <li>・白川中学校と連携はしているが、黒川中学校と連携はできていないこと。</li> <li>・17～19時は「延長部活」で、保護者が行ったのが始まりであり、その後さまざまな課題がでてきたので、解決するために以下の4つを整理したこと。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①規約 (部活動育成会で、毎年確認をしている 9月・4月の年2回)</li> <li>②推薦状・委嘱状 (指導者は保護者が探す 原則1年)</li> <li>③ドリームシート (顧問と指導者と保護者で指導方針を共有する)</li> <li>④活動計画書 (活動計画書を見て、けがや活動の状況の把握)</li> </ol>	

- ・吹奏楽部は、体育館2階の多目的室で練習することで、校舎内に入らなくてすむようにしたこと。
  - ・他町村との合同チームがあることについて。
  - ・移動のサポートとして、「スポリンパス」や「おでかけしらかわ」があること。
  - ・人数がいなくなり、少年団を廃団しサークル活動にしたことで、活動が活発化したこと。
  - ・中学生が少年団に参加するようになったこと。
  - ・指導者、保護者の勉強会を開催していること
- ◆今回、財政面についての説明や、法人化の経緯など、包み隠さず丁寧に細かく話をしていただいた。



左上 研修  
右上 町民会館前  
左下 大野台パーク  
右下 白川口駅前

【2日目】令和7年10月7日(火)

◆岐阜県庁にて、岐阜県・群馬県、両県の現在の状況、予算のこと、それぞれの施策のこと、平日の地域展開のこと等、多岐にわたり意見交換を行った。

◆情報交換後の昼食でも、雑談の中で様々な情報交換を行った。

【所感】

<白川町>

- ◆今回、体育協会、少年団、総合型が1つにまとまるきっかけを知ることができた。
- ◆新しい団体を立ち上げるまでに約4年かかり、それまでに会議や視察など、それぞれの団体の思いや考えを尊重しつつ、調整してきたことに、多くの苦労があったと感じた。
- ◆創設前でも創設後でも、課題を、一つ一つ丁寧に解決していると感じた。
- ◆創設してから8年たったことで、徐々に信頼も得てきている話を聞くこともできた。
- ◆伊勢崎市、渋川市、吉岡町にとって、法人化をすすめる上での参考となるだけでなく、一つの自治体としてどう取り組むべきか、参考になったと感じた。

<岐阜県>

- ◆両県は、人口も中学校数も気候等も共通するところが多いため、お互いにとってよい情報交換になったと感じた。
- ◆群馬県にとっては、今後の推進計画改定や施策の参考にしたい内容も多かった。
- ◆吉岡町にとっては、県としての考え方等参考になったようであった。

令和7年10月8日(水)

群馬県教育委員会  
健康体育課学校体育係  
指導主事 小山 靖弘  
指導主事 小林 史尚

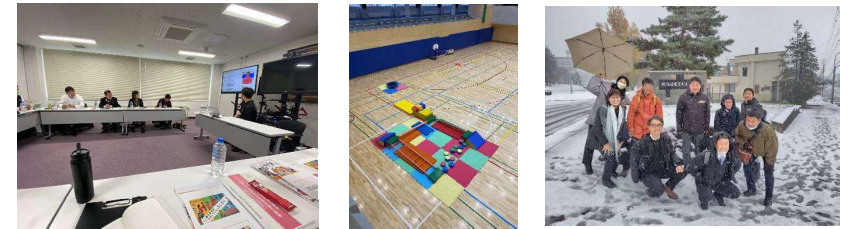
県外視察・研修会・情報交換等 報告書

都道府県・市町村	北海道安平町・岩見沢市・札幌市
概要	<p>◆令和7年11月10日(月) 14:30～17:00 安平町 研修 1 安平町について 2 早来学園について 3 アピースポーツクラブについて 4 施設見学(早来学園)</p> <p>◆令和7年11月11日(火) 10:00～12:00 総合型地域スポーツクラブSLDI 研修 1 SLDI(スポーツ ライフ デザイン 岩見沢)について 2 北海道教育大学岩見沢校との連携 3 部活動地域展開の取り組みについて 4 パルシューレ見学 13:00～15:30 北海道教育大学岩見沢校 研修 1 北海道教育大学岩見沢校について 2 北海道内の部活動の現状について 3 総合型地域スポーツクラブとの連携について</p> <p>◆令和7年11月12日(水) 9:30～12:00 (公財)北海道スポーツ協会 研修 1 北海道内のスポーツ少年団や総合型スポーツクラブ等の状況 2 北海道スポーツ協会としての学校部活動地域展開へのかかわり 3 北海道スポーツ協会と北海道教育委員会・北海道スポーツ部局との連携状況 4 部活動地域展開の事例</p>
訪問場所	<p>【1日目】令和7年11月10日(月) 安平町役場総合庁舎 安平町立早来学園 【2日目】令和7年11月11日(火) 北海道教育大学岩見沢校 【3日目】令和7年11月12日(水) 北海道立総合体育センター北海きたえーる</p>
訪問者	<p>令和7年11月10日(月) 小山指導主事・吉田指導主事・白尾指導主事・福田指導主事 小出県総括コーディネーター・田島コーディネーター・平林コーディネーター 小野里コーディネーター・清水県中体連事務局長・新町スポーツクラブ2名 令和7年11月11日(火)・12日(水) 小山指導主事・吉田指導主事・高坂指導主事・白尾指導主事・福田指導主事 小出県総括コーディネーター・田島コーディネーター・平林コーディネーター 小野里コーディネーター・清水県中体連事務局長・新町スポーツクラブ2名</p>
担当者	<p>【1日目】令和7年11月10日(月) 安平町教育次長 佐々木英夫 NPO法人アピースポーツクラブ クラブマネージャー 鳥實裕弥 【2日目】令和7年11月11日(火) 総合型地域スポーツクラブSLDI 代表理事 辻本智也 北海道教育大学 岩見沢校キャンパス長 山本理人 【3日目】令和7年11月12日(水) (公財)北海道スポーツ協会 生涯スポーツ課長 小松洋介 生涯スポーツ課主任・クラブアドバイザー 熊耳雅美 主任 高橋諒平</p>
<内容・記録>	<p>【1日目】令和7年11月10日(月) ◆安平町教育委員会佐々木次長より、安平町の概要及び教育施策について、説明を受けた。 ・人口7,264人 2018年9月6日北海道胆振東部地震により被災 ・ユニセフのCFCI・子どもにやさしい街づくり事業 ・胆振東部地震をきっかけに早来学園を創設</p> <p>◆NPO法人アピースポーツクラブマネージャー鳥實裕弥氏より、設立の経緯や運営について説明を受けた。 ・北海道胆振東部地震で子どもたちの活動の場が失われる 2019年1月設立 5月法人格取得 ・大人から子どもまでサポートする ・幼児期にマルチスポーツを経験させる</p>

- ・種目も世代も志向を超えて みんながスポーツを楽しむ みんなでスポーツを楽しむ
- ・パルシューレ教室 スポーツ探検隊 親子スポーツ DAYのほか
- ・一緒にスポーツを行い、指導者の発掘を目指す 大人のスポーツ DAY などを行っている
- ・財源確保に向けた取り組み 地域貢献型自動販売機の設置



- 【2日目】令和7年11月11日(火)
- ◆総合型地域スポーツクラブSLDI代表 辻本智也氏から設立の経緯や活動内容などの説明を受けた。
  - ・科学的根拠を活用したスポーツクラブの実現
  - ・北海道教育大学岩見沢校との連携  
Caps-Childプログラム 北海道教育大学岩見沢校スポーツ・コーチング科学コース開発  
Ball Schule ドイツ発祥ボール運動プログラム
  - ・幼少期マルチスポーツの経験 失敗と成功を繰り返す 潜在的学習
  - ◆北海道教育大学岩見沢校キャンパス長 山本理人氏から北海道の部活動地域移行に係る市町村の取組状況について説明を受ける。
  - ・地域移行に向けた取り組み状況の推移(休日・平日)  
運動・スポーツ系 休日約5割平日約4割 文科系 部活動として消滅している市町村が多くある



- 【3日目】令和7年11月12日(水)
- ◆北海道スポーツ協会生涯スポーツ課課長 小松洋介氏 主任・クラブアドバイザー 熊耳雅美氏 主任 高橋諒平氏より、北海道内の少年団や総合型地域スポーツクラブの現状や学校部活動地域展開へのかかわり、北海道教育委員会・北海道スポーツ協会との連携等について説明を受けた。
  - ◆モデル事業の取り組み あつまスポーツクラブ 本別町総合型地域文化・スポーツクラブ  
・課題 地域の人の声を聴く 子どもの声を聴く 上からの提案にならないようにする
  - ◆留寿都村 コミュニティスクール 関心のある人が集まり、留寿都村総合型クラブの立ち上げた
  - ◆部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣事業 6名 山本氏・熊耳氏他

